

研究課題名	COVID-19患者の転帰に影響を及ぼす因子の検討
研究責任者名	広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門 塩田 繁人
研究期間	2022年1月20日(倫理委員会承認後)～2025年3月31日
対象者	2020年5月～2024年3月に、COVID-19治療目的に広島大学病院に入院した患者さん
意義・目的	COVID-19に感染された方は、入院中のリハビリテーション治療において身体機能や生活の質(Quality of Life, QOL)が改善するということが明らかになっていますが、転帰先の違いに何が関連するのかについてはまだ明らかにされていません。本研究の目的は日常生活自立度(Activities of Daily Living, ADL)とせん妄に着目し、転帰先の違いに関連する因子が明らかです。そうすることで、早期からリハビリテーションを開始でき、患者さんが住み慣れた環境に円滑に退院できることに大きく貢献できると考えられます。
方法	<p>本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。</p> <p>カルテから使用する内容は以下の通りです。</p> <p>基本情報：年齢、性別、COVID-19重症度、入院期間、転帰(退院・転院・死亡)</p> <p>同居家族、入院前の居住先、合併症(Charlson Comorbidity Index)</p> <p>治療内容：薬物療法の内容、酸素療法の内容と期間、リハビリテーション治療の内容</p> <p>認知機能：認知症高齢者の日常生活自立度、Mini-Mental State Examination</p> <p>ADL：Barthel Index</p> <p>要介護度、介護保険サービスの有無</p> <p>取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報を削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。</p>
共同研究機関	ありません
情報の管理責任者	広島大学病院 診療支援部 リハビリテーション部門 塩田 繁人
個人情報の保護について	<p>調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。</p> <p>研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。</p>
問合せ・苦情等の窓口	<p>〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3</p> <p>Tel: 082-257-5566</p> <p>広島大学病院診療支援部リハビリテーション部門 作業療法士 村瀬 瑞希</p>